株主・投資家への責任と行動

株主・投資家へのタイムリーかつ公平で正確な情報開示に努めています。また株主様の権利を尊重し、 議決権を行使しやすい環境を整えています。

ディスクロージャーとは? 企業が経営内容などの情報を公開すること。近年、粉飾決算や情報隠蔽といった問題の発生から、企業の誠実なディスクロージャーが重要視されています。

株主の議決権とは?

株主総会で提示された議案について賛否を投票し、企業の経営に参加できる権利。保有している株式数に応じて、一定の量の議決権が行使できます。

2007年6月、本社で開催した 第71回定時株主総会。株主様 からの活発な質問があり、有意 義なご意見を頂戴しました。

情報開示の基本方針

正確かつ公平、適時な情報開示を基本としています

当社の情報開示は株主・投資家をはじめとするステークホルダーに対し、情報を正確かつ公平、適時に開示することを、基本としています。

情報開示の方法は、当社が株式を上場している証券取引所の適時開示規則に従い、同規則に該当する情報を証券取引所の適時開示システムに公開します。これらの公開情報は、当社のホームページにも速やかに掲載し、一般投資家にも公平に伝達されるよう努めています。また、適時開示規則に該当しない情報も、当社を理解していただくために有効と思われる情報については、報道機関や当社ウェブサイトを通じて公開します。

当社の情報開示方針(ディスクロージャーグ・ポリシー)は、ホームページに掲載しています。

株主様の 議決権・行使の促進

株主が議決権を行使しやすいよう 工夫しています

村田製作所では、株主が議決権を円滑 に行使し、より多くの株主の声を経営に反映 させるため、さまざまな工夫をしています。

そのひとつとして、1999年から株主総会の招集通知を早期(3週間以上前)に発送しています。これは特に外国人株主が、議決権行使について充分に検討する時間を確保するために実施しているもので、取り組み前に比べ、議決権行使率は約10%向上しました。招集通知は英文訳も作成し、ホームページに掲載しています。

また、議決権行使の利便性向上のために、パソコン・携帯電話のインターネットを介した議決権行使を実施。さらに機関投資家向けには、議決権行使プラットフォームにも参加しています。

株主総会では、図表・写真などを用いた 分かりやすい説明を心がけているほか、ムラ タセイサク君®のデモンストレーションを実施 するなど親しみやすさを心がけています。

■株主構成







報告書

株主・投資家との コミュニケーション

株主・投資家説明会を定期的に 開催しています

アナリスト・機関投資家にムラタの経営状況や事業戦略を理解していただくため、定期的に説明会を開催しています。

年1回、会長および社長による会社説明 会を実施しているのをはじめ、年4回、担当 役員による決算説明会を開催しています。

また、海外の投資家に対しては、欧米で会長および社長による会社説明会を年1回 実施しています。

また、株主・投資家に公平、迅速に情報を開示するため、当社ホームページの「投資家情報」サイトには、決算短信・決算説明会資料、会社説明会資料、有価証券報告書、アニュアル・レポート、適時開示情報などを掲載しています。



アニュアルレポート

投資家情報 http://www.murata.co.jp/cp-data/index.html

従業員の声

株主総会を通じて、当社への理解をより深めていただくことに取り組んでいます。

当社が作っている電子部品は電子機器の「なか」で働いており、外からは見えないことから、当社の製品や事業活動のことも一般にはわかりにくいと思います。

そんな当社のことを、株主総会を機にもっとよく知っていただきたい。そう考え、株主様への報告書や招集通知に製品などの用語解説を掲載したり、総会での説明資料の構成やナレーションの内容を見直しました。また、総会会場での製品説明を実施するなど、株主様にとってよりわかりやすくなるよう改善しています。





ディスクロージャー・ポリシー

http://www.murata.co.jp/csr/social/06.html